

千葉県社保協通信

2021年度 No.17 2022年 2月 22日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

2.19 コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守るなんでも電話相談会

千葉労連会場

国・自治体は 困窮する住民の声に耳を傾け あたたかな対応と十分な支援を

19日(土)「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも相談会」実行委員会による電話相談会が、全国27都道府県35会場(10時~22時)で行われました。千葉労連会場(12時~17時・2回線)には18件の相談が寄せられました。

NHK 正午のニュースの報道をきっかけに、相談員がフル回転となりました。千葉労連労働相談センターの中林正憲さんは4件の相談に対応しました。

1件目は生活保護受給者の男性で、「10万円の臨時特別支援金の連絡がない、市に問い合わせても説明してもらえない」との市の窓口対応への苦情です。

2件目は生活保護受給者の50代女性。電気代が安くなりお得との話で契約したのに、7万円の請求が来た。保護費で支払えない。市に相談したが対応してもらえずどうしたらいいのかという訴え。すぐに居住地の社保協に連絡を取り、相談者に詳しく話を聞き取る中で、電気代以外にも生育過程での虐待や現在の



次々に寄せられる相談に2人の弁護士と2人の労働相談員が交代で対応しました。

家庭内での問題を抱えており、引き続き対応が必要ということになりました。

つづいてラジオの情報で知ったという80代男性。「農業をしていたので田圃を切り売りしていたが、売るのが無くなった。市に相談したら、働けと言われた。コロナと死ぬのが一番の希望」と言う。「たまたまかも知れないが、3人とも市の窓口での対応に失望している。元市役所職員の立場から耳の痛い相談内容だ。経済的弱者がコロナ禍の殺伐とした世相の中で追い詰められている姿を実感させられた」と話しました。

一次回相談会は4月23日(土)の予定です—



県社保協・消費税廃止連絡会・憲法共同センター

活かせ 憲法 !! 削るな!! 社会保障 軍事費 削れ!!

2月22日(火)12時~13時。千葉駅そごう側通路での3団体共同による定例宣伝。冷たい風の吹き抜ける中、土建、千葉労連、自治労連、千商連、新婦人、私教連、共産党、県社保協の9団体10人の参加で行いました。

「社会保障費が削られ、国民負担は増え続ける一方で軍事費は6兆円を突破」「憲法9条を生かした外交に力を入れ、国民のくらし、生業に目を向けた支援を強めるべき」などと訴えました。「まずは平和憲法守ることからね」と3つの署名に応じた女性をはじめ足をとめる人も多く、憲法=5筆、消費税引き下げ=10筆、新しいのち署名=4筆 合計19筆でした。

